



実施自治体 募集!



Let's Try
15min

住民総参加型のスポーツイベント



チャレンジデー

2018



2018年5月30日(水) 全国一斉開催!

CHALLENGEDAY

チャレンジデーは、地球規模のスポーツイベントです。

チャレンジデーは、住民総参加型のスポーツイベントです。

毎年5月の最終水曜日に世界中で開催され、年齢や性別を問わず誰もが気軽に参加できます。

「住民の健康づくり」や「地域の活性化」などのきっかけづくりに最適です。

🕒 チャレンジデーとは？

毎年5月の最終水曜日に、世界中で開催される住民総参加型のスポーツイベントです。
人口規模がほぼ同じ自治体間で、1日に15分以上、運動やスポーツを行った住民の数(参加率)を競います。

1983年にカナダで始まり、2017年は20カ国が実施しました。

日本では1993年から行われており、第25回目となるチャレンジデー2017は全国で128市区町村が実施し、339万人が参加しました。

📄 チャレンジデーのルール

参加方法

- チャレンジデー当日の午前0時から午後9時までの間に、実施市区町村にいる全ての人が参加できます。
- 運動やスポーツなら何でもOK。サッカーやバレーボール、グラウンド・ゴルフなどの仲間との活動のほか、ラジオ体操やウォーキング、自宅での筋トレでも参加できます。
- 15分以上続けて運動やスポーツを行った後、市区町村の集計本部に報告します。

※参加報告は「1人1回(票)」で、ダブルカウントは禁止です。参加報告はチャレンジデー当日のみ有効です(事前登録や事前報告はできません)。



勝 敗

- 15分以上続けて運動やスポーツを行った住民の割合(参加者数÷自治体の人口=参加率)により勝敗が決まります。
- 敗れた市区町村は、対戦自治体の旗を1週間庁舎に掲揚し、相手に敬意を表します。

＼自治体のスポーツ担当の皆様へ！

“チャレンジデーでまちづくり”をしませんか

1

平日に時間を見つけて運動・スポーツを行うことで、住民の**スポーツの習慣化**が期待できます。



2

スポーツを通じて住民の健康への意識を高めることで、**健康寿命の延伸や医療費の削減**が期待できます。



3

まち全体で取り組むことで、まとまりと一体感が生まれ、**地域の活性化**につながります。



4

全国からエントリーする自治体との対戦により、**新たな交流**が生まれます。



チャレンジデー2018

- **開催日** 2018年5月30日 水曜日
- **主催** 笹川スポーツ財団、各実施自治体実行委員会
- **後援(予定)** 総務省、外務省、厚生労働省、経済産業省、観光庁、スポーツ庁、(独)日本スポーツ振興センター、全国市長会、全国町村会、(公財)日本オリンピック委員会、(公財)日本体育協会、(公財)日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会、(公財)日本レクリエーション協会、(公財)健康・体力づくり事業財団、健康日本21推進全国連絡協議会、(公社)全国スポーツ推進委員連合、(公社)日本青年会議所、(公財)スポーツ安全協会、(一社)アスリートネットワーク、(特非)日本オリンピック協会、(一社)日本パラリンピアンズ協会、プロスポーツ昭和50年会、(一社)日本女子サッカーリーグ、(公財)日本ゲートボール連合、(公財)ブルーシー・アンド・グリーンランド財団、(公財)マリンスポーツ財団、(特非)日本ワールドゲームズ協会
- **特別協賛** 日本財団
- **サポート(予定)** ①チャレンジデーの実施に必要な経費の一部を支援 ②周知・PR グッズ(ポスター、Tシャツ、横断幕等)の提供 ③チャレンジデーに関する各種情報の提供
- **申込締切** 2018年2月9日 金曜日
- **お問い合わせ** 笹川スポーツ財団 チャレンジデー担当 TEL:03-5545-3303 Email:cday@ssf.or.jp 〒107-6011 東京都港区赤坂1-12-32 アーク森ビル イーストウイング11階

チャレンジデーの資料送付をご希望の方は、以下の必要事項をご記入のうえ、FAXのご送付をお願いいたします。

FAX:03-5545-3305 笹川スポーツ財団 チャレンジデー担当行

自治体名	都道府県			市区町村
住所	(〒 -)			
所属部署		氏名		
連絡先	TEL	FAX		
	Email			